



センバツ出場に向け、花束の贈呈を受ける八学光星ナインら
=15日、デーリー東北新聞社

光星センバツ「V目指す」

選手ら本社訪れ決意

3月18日に開幕する第96回選抜高校野球大会に出場する八戸学院光星ナインが15日、八戸市のデーリー東北新聞社を訪れた。同校にとっては5年ぶり11度目のセンバツで、夏春季連続の甲子園。砂子田陽土主将は「明るく、一生懸命にプレーして、全国制覇を目指す」と闘志をみなぎらせた。選手20人と仲井宗基監督、小坂眞志部長、中村良寛校長、小笠原慶一協賛会

デーリー東北
動画配信中心

八戸市は15日、第96回選抜高校野球大会に出場する

光星ナイン応援
八戸市庁に看板

八戸学院光星ナインの活躍を期し、応援メッセージ入りの看板を市庁本館前に設置した。大きさは縦90センチ、横9メートル。「出場おめでとう」「ご健闘をお祈りします」



八戸市庁前に設置された
応援看板15日

など選手らへの激励の言葉が記されている。
同日、光星ナインらは同校の中村良寛校長と共に市庁を訪問。熊谷雄一市長と懇談し、大会に向けた抱負などを述べた。熊谷市長は「大舞台で精いっぱいプレーしてほしい。プレッシャーを力に変えて頑張ってください」とエールを送った。
市は職員から集まった寄付金58万9490円を同校に贈った。(千葉達也)